

8人死亡13人不明



発行所 秋田魁新報社
〒010-8601
秋田市山王臨海町1番1号
©秋田魁新報社 2019年



台風19号による大雨で増水し氾濫した千曲川。中央左は決壊した堤防＝13日午前8時15分、長野市穂保（共同通信社ヘリから）

台風19号、長野・千曲川が決壊

号外

購読申し込み

0120-13-1231

电子版

www.sakigake.jp

モバイル

m.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報」朝刊、「秋田魁新報」電子版「さきがけMOBILE」をご覧ください。

台風19号の通過に伴う猛烈な雨の影響で、東京の多摩川や長野県の千曲川など各地の河川で氾濫・増水が発生し、土砂災害で孤立する地域が続出した。13日午前9時までに共同通信の集計で8人が死亡、13人が行方不明になり、負傷者も多数出た。

長野市では千曲川の堤防が約70㍍にわたって決壊し、大量の水が住宅地に流れ込んだ。国土交通省北陸地方整備局によると、国の浸水想定区域で水深が5㍍に達する恐れもある。市内の福祉施設2カ所では浸水で高齢者ら計約130人が取り残され、自衛隊などが救助活動を進めた。

本県では、大仙市でトタン屋根が剥がれるなどしたほか、鹿角市では倒木で県道が一時通行止めとなった。男鹿市の市道では土砂崩れが発生。人的被害は確認されていない。